

目次

1. 事業の目的・目標	1
1-1 目的	
1-2 目標	
2. 事業内容・事業実績	1
2-1 ペアレント・プログラム支援者ワークショップの実施	1-3
大分県国東市	4
山形県山形市	6
静岡県富士市	7
北海道札幌市	8
長崎県対馬市	9
和歌山県岩出市	10
福井県小浜市	11
宮城県	12
愛知県一宮市	13
千葉県柏市	14
鹿児島県奄美市	15
鹿児島県喜界島	16
奈良県	17
愛知県田原市	18
岡山県	19
山口県	20
青森県	22
石川県小松市	23
愛知県大府市	24
熊本県八代市	25
2-2 ペアレント・プログラム実施資格認定	26
2-3 ペアレント・プログラム実施資格認定の仕組み	27
3. 事業成果物	27-28
4. 全体の成果 及び 今後の課題・取り組みについて	29

1. 事業の目的・目標

1-1 目的

発達障害やその特性のある子どもの家族への支援体制は十分ではなく、孤立した保護者は少なくない。国は家族支援の重要性を強調し、当会が開発した、ペアレント・プログラムの普及に期待を寄せている。本プログラムは専門的知識がない一般の保育士や障害児福祉事業所職員が実施可能な内容であり、厚生労働省障害者総合福祉推進事業等を通して既に全国で300人以上の支援者が実践参加型の研修を終えている。

しかし、社会実装において、研修を受けた支援者のサポートと各地域の実施体制構築が未だ課題として残る。本事業では、参加研修を終えた支援者を対象に資格認証と自治体との連携提案、ワークショップを実施する。行政職員の参加を積極的に促し、孤立している保護者への支援基盤を作り、自治体の中で継続的な保護者支援を行うことを目的とする。

1-2 目標

本事業では、既にペアレント・プログラム（全6回）の研修を終えた、20地域において、各10名程度、合計200名程の支援者への資格認証を予定している。認証発行には、各地域での実施状況や認証者数をアスペ・エルデの会のホームページにて公表する。支援者自身の理解度を確認するためのセルフチェックシート、プログラム実施に必要な掲示物素材、保護者用配布資料などを提供し、実際的な準備を進められるようにする。ワークショップでは、自治体や自立支援協議会等のメンバーにも参加を求め、市町村職員等がペアレント・プログラムの内容と地域の保護者支援の現状を共有する機会とする。

2. 事業内容・事業実績

本事業を進めるにあたり、以下のURLのペアレント・プログラム専用ホームページを開設した。 <https://sites.google.com/site/npofarenasupeerudenohui/home>

2-1 ペアレント・プログラム支援者ワークショップの実施

<実施計画>

- (1) 時期：2016年9月～2017年2月 各1回 計20回
- (2) 場所：札幌市，弘前市，山形県新庄市，福島県福島市（対象地域はプログラムを実施した5市），魚沼市，小松市，小浜市，北信圏域，富士圏域，愛知県名古屋市（対象地域は愛知県，岐阜県，三重県），香芝市，岩出市，岡山市，益田市，徳島市，長門市，八女市，国東市，対馬市，奄美市
- (3) 対象者：ペアレント・プログラムの参加研修を終えた支援者（保育士，保健師，福祉事業所職員等），地域の行政職員（各5～20名，合計300名程度）
- (4) 内容：1回約2時間程度
 1. ペアレント・プログラムの目標・内容の復習
 2. プログラムに必要な素材の提供
 3. 地域でプログラムを実践している事例紹介
 4. 支援者同士のプログラム実施に向けた計画作成（ワーク）

- (5) 広報：既にプログラムを実施した地域であり、いずれの地域も、プログラム実施時の関係者を通して参加を呼びかける。
- (6) 費用：参加費として1人につき1,000円徴収する。

<活動実績>

- (1) 時期： 2016年9月～2017年3月 各1回 計20回
- (2) 場所： 開催日時、事前予約者数と共に、以下に示す。

① ● 7/24(日) 大分県国東市

開催時間：14:00～17:00 会場：地域活動支援センター ぽけっと
【住所】国東市武蔵町古市 1096-1 [事前予約者数：20名]

② ● 9/7 (水) 山形県山形市

開催時間：13:00～16:00 会場：山形県村山総合支庁 402 会議室
【住所】山形 市鉄砲 町 2-19 -68 [事前予約者数：38名]

③ ● 9/30(金) 静岡県富士市

開催時間：9:45～12:45 会場：静岡県富士総合庁舎 601 会議室
【住所】富士市本市場 441-1 [事前予約者数：31名]

④ ● 10/14(金) 北海道札幌市

開催時間：14:00～17:00 会場：北海道自治労会館
【住所】札幌市北区北6条西7丁目5-3 [事前予約者数：29名]

⑤ ● 10/16(日) 長崎県対馬市

開催時間：13:00～16:00 会場：対馬市交流センター
【住所】対馬市厳原町今屋敷 661 番地 [事前予約者数：9名]

⑥ ● 10/22(土) 和歌山県岩出市

開催時間：13:00～16:00 会場：社会法人和歌山つくし会
和歌山つくし医療・福祉センター【住所】岩出市中迫 665 [事前予約者数：22名]

⑦ ● 10/23(日) 福井県小浜市

開催時間：9:30～12:30 会場：小浜市総合福祉センター (サン・サンホーム小浜)
【住所】小浜市遠敷 84-3-4 [事前予約者数：21名]

⑧ ● 11/25(金) 宮城県仙台市

開催時間：13:15～16:15 会場：エル・ソーラ仙台 (アエル 28 階 研修室)
【住所】仙台市青葉区中央 1 丁目 3-1

⑨ ● 12/9(金) 愛知県一宮市

開催時間：9:15～12:15 会場：尾張一宮駅前ビル 小会議室

【住所】愛知県一宮市栄3丁目1-2

⑩ 12/11(日) 千葉県柏市

開催時間：13:00～16:00 会場：ウェルネス柏4階 大会議室

【住所】千葉県柏市柏下65-1

⑪ ● 12/16(金) 鹿児島県奄美市

開催時間：13:00～16:00 会場：奄美文化センター 第2会議室

【住所】鹿児島県奄美市名瀬長浜町517

⑫ ● 12/17(土) 鹿児島県喜界島

開催時間：14:30～17:30 会場：児童発達支援事業所てくてく教室

【住所】〒891-6202 鹿児島県大島郡喜界町湾8

⑬ ● 12/23(金) 奈良県大和高田市

開催時間：13:00～16:00 会場：奈良県産業会館 中会議室

【住所】奈良県大和高田市幸町2番33号

⑭ ● 1/20 (金) 愛知県田原市

開催時間：9:00～12:00 会場：田原児童センター分館「あおぞら園」

【住所】田原市大久保町大新田140-1

⑮ ● 1/21(土) 岡山県

開催時間：13:30～16:30 会場：きらめきプラザ 702号室

【住所】岡山市北区南方二丁目13-1

⑯ ● 1/22(日) 山口県

開催時間：9:30～12:30 会場：長門市物産観光センター2階 会議室1・2
(長門市中央公民館横)

【住所】長門市東深川1324-1(正明市4区)

⑰ ● 2/9 (木) 青森県

開催時間：9:30～12:30 会場：アピオ青森 大研修室2

【住所】青森市中央3丁目17-1

⑱ ● 2/11(土) 石川県小松市

開催時間：13:00～16:00 会場：小松市すこやかセンター1階研修室

【住所】小松市向本折町へ14-4

⑲ ● 2/16(木) 愛知県大府市

開催時間：17:45～20:45 会場：大府市勤労文化会館

【住所】大府市明成町1丁目330

⑳ ● 3/10(金) 熊本県八代市

開催時間：13:30～16:30 会場：県南広域本部 1階 第一集団指導室

【住所】熊本県八代市西片町 1660

- (4) 内容： 1回約3時間程度 (実施資格認定申請書の提出、実施資格認定証配布等含)
1. ペアレント・プログラムの目標・内容の復習
 2. プログラムに必要な素材の提供
 3. 地域でプログラムを実践している事例紹介
 4. 支援者同士のプログラム実施に向けた計画作成(ワーク)
- (5) 広報： 既に全6回の研修型プログラムを実施した地域であり、いずれの地域も、プログラム実施時の関係者を通して参加を呼びかけた。弊会HP及び、弊会が管理するペアレント・プログラム専用HP、チラシの配布によって広く案内を行った。
- (6) 費用： 参加費として1人につき1,000円徴収した。
- (7) 地域別活動報告

本事業は、各地域の自治体および民間団体に連携協力を依頼し、ワークショップ開催に際して、ご協力をいただきました。開催前のチラシ作成から、ワークショップ会場設営・片付け、終了後のアンケートなど、ご支援賜りましたこと、この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

注) 以下、地域ごとに提示させていただく子育て支援の現状、今後の展望等については、全てが自治体としてのご意見である訳ではありません。参考意見としてご覧ください。

大分県国東市

(1) 開催日時 : 2016年7月24日(日) 14:00～17:00

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 16名
- ・認定外参加者： 5名
- ・参加者数： 21名

(3) 会場の様子



都道府県名	大分県	報告者名	古城英美枝
連携団体名	社会福祉法人 秀溪会		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現状について	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい児相談支援事業が H23 より市の委託として実施。また、5 歳児相談会が H25 より実施され、気になる児の早期発見、早期関わり、早期対応ができるようになってきている。 ・その中で、福祉、保健、教育、その他保育所、幼稚園関係者での連携、情報共有ができてきている。 ・気になる児の保護者へのアプローチが、依然として難しいことがある。 (そのような場合に、ペアプロへの参加は、障害のあるなしに関わらず、楽しく子育てをしたい保護者へ向けての呼びかけになっており、敷居が低い。そのためペアプロに支援者として参加している、地域の支援機関とつながり、その後のフォロー体制もできやすくなっているように感じる) 		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<ul style="list-style-type: none"> ・H27 年度には、本法人の発達支援事業、放課後等デイサービス事業を開設している、いきいきっ子クラブを利用している保護者を対象にペアプロを実施。加えて、保育所保育士への職員研修としてペアプロを実施した。 ・H28 年度より、市の委託事業となる。いきいきっ子クラブでのペアプロ実施の継続、加えて、保育所(園)幼稚園、こども園を通じて全家庭へのペアプロの案内チラシを配布。参加希望のあった保護者を対象に、ペアプロを実施した。また、保育所保育士への職員研修としてペアプロを 2 グループに実施した。 ・今後も、市の委託事業として継続の予定。保護者を対象としたグループへの実施と、子どもに関わる幼稚園教諭、保育所保育士などへの職員研修も実施していきたい。毎年、地道に続けていく中で、ペアプロの考え方が、子どもに関わる支援者、保護者の中に、広く浸透していくと良いと考える。 ・特性の強い子どもを持つ保護者(ペアプロ参加者)や、ペアプロ参加の支援者から、ペアプロの次のステップとして、ペアトレが有効ではないか、という意見が少しずつ出てきている。地域の支援者としては、そのような保護者のニーズに答えるために、ペアトレの研修の機会があれば、ぜひ受けたいと考えている。 		
その他、本事業への感想・ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・辻井先生によるペアプロの開催、アドバンスワークショップの開催をしていただいたことに大変感謝をしている。マニュアルの改訂や、ペアプロで使用するキットを作成し送っていただいたことも有難かった。 ・今後の見通しとして、次のようなことをお願いしたいと考えている。 <ul style="list-style-type: none"> ○司会をする支援者への、定期的な研修の機会を作ってほしい。 ○アドバンスワークショップを適宜開催してもらいたい。そうでないと、地域で司会ができる支援者が増えていかない。 ○ペアトレなど、次のステップの研修の開催をお願いしたい。 		

山形県山形市

(1) 開催日時 : 2016年9月7日(水) 13:00~16:00

(2) 会場 : 山形県村山総合支庁 402 会議室

(3) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者 : 10名
- ・認定外参加者 : 28名
- ・参加者数 : 38名

都道府県名	山形県	報告者名	藤田陽子
連携団体名	山形県発達障がい者支援センター		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度より、県事業として、各圏域の基幹となる児童発達支援事業所に「早期からの親子サポーター」を配置し、①地域の保育所や放課後児童クラブ等からの相談に応じる、②ネットワーク体制の構築が必要とされる地域や分野を対象に、支援体制確立の後押しをする、③県で作成したサポートファイルの普及定着を図る、④ペアレントメンター地域推進センターとしてペアレントメンターの発掘や養成、派遣調整、制度の周知啓発等の取組みを行っています。(単年度の基金事業であり、継続・安定した取組みとなりにくいという課題はあります。) 		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援として予算を確保できた自治体があり、子どもの障がいの有無にかかわらず、来年度は資格認定を受けた地元スタッフが中心となり、白石雅一先生のSVと半数回の来場による指導を受けながらペアレント・プログラムを実施していく予定とのこと。 ・その他の地域で、辻井正次先生らからペアレント・プログラムを学んだ支援者が日々の支援に活かすほか、単発にはなるが、研修企画によりペアレント・プログラムについての啓発活動をしていくという事業所もあります。 		
その他、本事業への感想・ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・診断の有無にかかわらず悩める保護者の支援のために有効な手法であり、身近な地域で安定して行えるようになればと思います。貴会のお声かけ、また、辻井先生・白石先生のフットワークの良さがありがたいです。 ・当センターとしては、地域の実情・動きを把握し、役立つ情報の発信ができるようにと考えております。 		

静岡県富士市

(1) 開催日時 : 2016年9月30日(金) 9:45~12:45

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者 : 32名
- ・認定外参加者 : 27名
- ・参加者数 : 59名

(3) 会場の様子



都道府県名	静岡県	報告者名	地域生活支援センター せふりー
連携団体名	富士圏域自立支援協議会		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	富士圏域では、行政や関係機関、任意団体などが、関係する子育て支援・家族支援を行っております。それぞれが独自の特徴を活かした活動を行なっている状況です。しかし、障害などの分野と子育ての分野の連携が不十分な部分もあり、今後は、幅広い連携の中で子育てを応援していける体制作りが望まれます。		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	富士圏域自立支援協議会では、こども部会の中にペアレント・プログラムのワーキンググループを設置し、富士市・富士宮市の両市の中で、より安定的にペアレント・プログラムが実施、活用していけるような活動を行なっています。今後は、関係機関への普及啓発を持続していくとともに、トレーナーの育成を行なっていきたいと思っております。また、トレーナーの方々が継続して実施していただけるようなフォローアップ研修などの仕組みづくりを行なっていくことを考えております。		
その他、本事業への感想・ご意見	本県東部にて開催し、大勢のトレーナー資格を持った方々が講習を受けることができ、感謝しております。できれば、継続したアドバンス研修の開催やフォローアップの研修があると、トレーナーの質の担保や向上につながるため、非常に助かります。		

北海道札幌市

(1) 開催日時：2016年10月14日（金） 14:00～17:00

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 8名
- ・認定外参加者： 21名
- ・参加者数： 29名

(3) 会場の様子



都道府県名	札幌市	報告者名	西尾 大輔
連携団体名	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現状について	<p>札幌市では児童通所支援事業所が全国で最も多く利用の機会としては多くあると思います。しかし、発達障がいのある子どもたちへ十分な支援がされているかはわからないところです。札幌市では児童発達支援事業所のフォローとして児童発達支援センターを9カ所、今年度途中からは放課後等デイサービスのフォローとして地域支援マネージャーを1カ所配置しています。家族支援体制としては平成23年度からペアレントメンターの養成を行い、平成24年度から現在まで活躍の場を広げていっています。</p> <p>発達障がいの診断にかかわらず、任意の5歳児検診を実施したり、こども発達総合センターちくたくを中心に、子育てに不安のあるご家族には子育て支援センターやさっぽろ子ども広場などが相談の窓口となっています</p>		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<p>診断のあるなしにかかわらず、児童通所支援事業所は利用できますが、一方で保護者の方が学ぶ機会はあまり用意されていないかもしれません。また、「障がい」と名のつく事業所の活用はなかなか敷居が高いことも考えられます。札幌市では、子ども発達総合支援センターちくたくと当センターで協力して、各区の子育て支援センターのスタッフへ、ペアレントプログラムを実施できるように研修を行うことを考えています。また市立幼稚園や児童発達支援事業所などへも広げ、特別な場所へ行かなくても、身近な場所でペアレントプログラムを受けられる環境をつくらればと思います。そうすることで子育てを少し気楽にしたり、孤立感をなくせるとよいと考えています。</p>		
その他、本事業への感想・ご意見	<p>市の職員のかたの研修は年度当初に予定を立てないと出ることが難しいので、6回もののペアレントプログラムは、ちくたくと当センターでできますが、資格認定のワークショップができないので、アスペルデル会の会でも早めに日程の調整をしていただくと助かります。</p>		

長崎県対馬市

(1) 開催日時： 2016年10月16日(日) 13:00～16:00

(2) 参加者：

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 7名
- ・認定外参加者： 2名
- ・参加者数： 9名

都道府県名	長崎県	報告者名	脇山 武士
連携団体名	あいネットつしま		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	<p>○当団体では、障害等により支援を必要とする方の支援体制構築・充実に向け、直接的支援として、「デイキャンプ」「クリスマス会」「家族のつどい」(日帰りイベント)を開催し、家族間の交流、支援者・家族との交流も目的の一つとして行っている。また、プログラム中に「保護者懇談会」を開催し、悩みや困りごとの相談、情報の共有等を行っている。この他、「地域療育研修会」「学習会」を開催し、支援者、家族、地域の方向けに特別支援教育、障害者支援等に関する研修の場、学習の場、情報収集の場を設定している。</p>		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<p>○一昨年実施頂いた研修会、今回のアドバンスワークショップを通じ、関係者の中でペアレント・プログラムの有用性は認識いただけたと感じている。ただし、関係者が一部の方に限られている事があり、そのさらなる周知が一つの課題となる。また、当団体が協力団体となり研修会、ワークショップ等を実施していただいたが、実際に実施する団体としては想定されにくいため、今後は実施主体として想定される市や、協力機関として想定される子育て支援センター等とも協議、協力しながら実施に向け進めていきたいと考えている。</p>		
その他、本事業への感想・ご意見	<p>○遠いところに何回も足をお運びいただき大変感謝しています。また、関係者の皆様にも各種御調整をいただき感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。</p> <p>○ペアレント・プログラムの研修を通じ、当方において追跡調査等はありませんが、受講された方の感想や様子を見る事で有用性を感じる事ができました。</p> <p>○ペアレント・プログラムで学んだ考えから、理論等は、子どもと接する時に自分自身の考え方を整理したり子どもへ声かけする時の参考になりました。</p>		

和歌山県岩出市

(1) 開催日時： 2016年10月22日(土) 13:00~16:00

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 13名
- ・認定外参加者： 8名
- ・参加者数： 21名

都道府県名	和歌山県	報告者名	阪上陽一
連携団体名	和歌山つくし医療・福祉センター		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	子育て支援については、各市町村の子育て支援センターが中心となり、子育てに関する相談や、子育ての情報の収集と提供、また、育児講座の実施や子育てサークルの支援を行っている。		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<p>まずは各地域に対してペアレント・プログラムの内容を知っていただくために、当センターで定期的にペアレント・プログラムを実施し、地域の子育て支援にかかわる方々に、スタッフとして参加していただけるようにしている。</p> <p>さらに、ペアレント・プログラムに興味を持っていただいた方々、実際ペアレント・プログラムを開催したいと考えている団体に出向き、出張でペアレント・プログラムをその場で行うことで、次回からはその方々でペアレント・プログラムを行っていただけるように支援したいと考えている。ちなみに、実際、数回そのような形でペアレント・プログラムを開催しており、少しずつではあるが広がりが出始めている。また、出先でのペアレント・プログラムに、その地域の保育士や保健師にも参加いただいております、各地域の保育所などでの開催の礎も気づいている最中である。</p>		
その他、本事業への感想・ご意見	<p>従来のペアレントトレーニング(和歌山では triple P が主流)に比べて実施がしやすく、専門家でなくても行えそうだと思ってもらえている。そのため、保育士等による実施を広めていけるかも・・・と感じている。</p> <p>その一方で、ペアレント・プログラム程度のスケジュールであっても、参加対象である母親にとっては参加に踏み切るにはまだまだハードルが高いのではないかと、という意見も保育士等から聞かれる。そのため、ペアレント・プログラムを親御様に知っていただき、少しでも興味関心を抱いていただくために、ペアレント・プログラムの現状把握表の自分編だけを書いてもらい、グループでシェアするなど、ペアレント・プログラムの入り口だけを体験してもらえらる会を催すなどの工夫も必要ではないかとの提案もなされている。</p>		

福井県小浜市

(1) 開催日時： 2016年10月23日(日) 9:30～12:30

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 12名
- ・認定外参加者： 9名
- ・参加者数： 21名

(3) 会場の様子



都道府県名	福井県	報告者名	
連携団体名	小浜市母と子の家児童発達支援センター		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について			
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について			
その他、本事業への感想・ご意見			

宮城県

(1) 開催日時： 2016年11月25日(金) 13:15~16:15

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 10名
- ・認定外参加者： 12名
- ・参加者数： 22名

(3) 会場の様子



都道府県名	宮城県	報告者名	高橋
連携団体名	宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	<p>宮城県の中心でもある100万人都市・仙台市と、それ以外の基礎自治体では地域の格差が大きい。人口規模についても10万人規模の都市と、1万人~5万人規模の町村が点在する。</p> <p>当センターとしては、障害保健福祉圏域での取り組みとなっており、障害児者支援という枠組みで動いているが、子育て支援や教育機関との連携・協働は不可欠と感じている。地域によっては障害福祉・子育て支援・教育と連携できているところもあるが、できていない地域もあるのが現状であり、課題と感じている。</p>		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<p>宮城県障害児等療育支援事業において、療育支援・子育て支援・家族支援を目的としている。この事業は地域を支援する法人(相談支援事業所)へ委託し、圏域での事業展開をする。</p> <p>宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」が、地域でのペアレント・プログラムの普及と展開をするため、障害児等療育支援事業担当者に対し、支援・バックアップ・コンサルテーションを行っている。</p> <p>宮城県障害児等療育支援事業において、地域でのペアレント・プログラム実施を発達障害支援・家族支援のスタートとする。</p> <p>これまでに障害児等療育支援事業担当者は、ペアレント・プログラムについて当センターが主催する研修を受け、地域でのペアレント・プログラム開催をしている。開催にあたっては、当センターがバックアップを行う。</p> <p>現状、ペアレント・プログラム開催が未だ確実に行えない地域がいくつかある。障害児等療育支援事業担当者の状況や、地域性、自治体行政の理解と協力が得られているか等によっても実施状況が変わるため、当センタ</p>		

	<p>ーとしては普及啓発及び支援者育成に取り組んでいきたい。</p> <p>取り組みに当たっては、平成28年度アスペ・エルデの会主催のペアレント・プログラムアドバンスワークショップ in 宮城にて資格認証を受けているファシリテーターを積極的に活用していく。</p>
その他、本事業への感想・ご意見	<p>ペアレント・プログラムアドバンスワークショップ開催時、案内文に記載されていた「資格認証を受けることで得られるニュースレター等の情報提供」について、最新の情報や全国的な動き、ペアレント・プログラムに関する情報など定期的に発信いただけると助かります。</p>

愛知県一宮市

- (1) 開催日時： 2016年12月9日(金) 9:15～12:15
- (2) 参加者
- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 24名
 - ・認定外参加者： 0名
 - ・参加者数： 24名
- (3) 会場の様子



都道府県名	愛知県	報告者名	
連携団体名	一宮市		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	子育て支援課・保育課・健康づくり課等に関連することなのでコメントは控えます。		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	一宮市障害者自立支援協議会の専門部会の1つである、発達支援部会主催で平成29年度も開催する予定です。		
その他、本事業への感想・ご意見	スターターキットの提供があることが、主催者の負担軽減になり早期の開催につながると思います。		

千葉県柏市

(1) 開催日時

2016年12月11日(日) 13:00~16:00

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 28名
- ・認定外参加者： 14名
- ・参加者数： 42名

(3) 会場の様子



都道府県名	千葉県	報告者名	山口祥子
連携団体名	柏市立教育研究所, 子育て支援課		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	<p>柏市では、以下の関係機関が子育ての相談や支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠から出産, 健診や子育て全般に関する相談⇒地域健康づくり課 ・発達に不安がある場合の相談や療育⇒こども発達センター ・家庭やしつけ, 虐待等の相談や家庭への支援⇒こども福祉課 ・幼児教育, 学校教育相談⇒指導課生徒指導室 ・就学相談, 特別支援教育⇒教育研究所 ・児童センター⇒子育て支援課 ・放課後デイサービス⇒障害福祉課 ・幼稚園保育園こども園⇒保育運営課 <p>担当ごとに相談内容が異なるが、関係各課と連携しながら、支援や対応をしている状況である。今後はさらに関係機関の連携強化が求められる。</p>		

<p>ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について</p>	<p>【子育て支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度も児童センター等でペアレント・プログラムを開催する予定(年3回) <p>【教育研究所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度も特別支援学級在籍の保護者を中心にペアレント・プログラムを開催予定(年1～2回) ・支援者研修も可能な限り、行っていきたい。 ・ペアレント・プログラムや支援者研修を行う際には、関係部局にも連絡し、支援体制を広げていきたい。 ・特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターにも、ペアレント・プログラムを知ってもらい、子どもの行動に着目することを基本にできるようにするとともに、保護者との連携や相談のツールにしていきたい。
<p>その他、本事業への感想・ご意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も辻井先生にお越しいただき、アドバンスワークショップを開催することができ、大変ありがたかったです。 ・スターターキットやマニュアル本があることで、プログラムを同じように展開することができ、大変有効であると感じています。 ・支援者の育成は、アスペルデの会の担当者が、各地域で、定期的開催や認定をしていただけると大変助かります。 ・プログラムの内容は、こどもに関わる職種には、必要な考え方だと思います。子どもや保護者を支援する立場の方々には、ペアレント・プログラムを学ぶ機会が必ずどこかであるとよいかと思います。今後も事業の推進を望みます。

鹿児島県奄美市

(1) 開催日時： 2016年12月16日(金) 13:00～16:00

(2) 参加者

・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 30名

・認定外参加者： 10名

・参加者数： 40名

(3) 会場の様子



鹿児島県喜界島

(1) 開催日時： 2016年12月17日(土) 14:30~17:30

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 9名
- ・認定外参加者： 3名
- ・参加者数： 12名

(3) 会場の様子



都道府県名	鹿児島県	報告者名	松野 恵子
連携団体名	NPO 法人 チャレンジドサポート奄美		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	保健師及びファミリーサポートセンターによる支援が行われている。保健師や保育士の、早期に気づく力が向上し、療育に結びつける体制ができつつある。		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、ペアレントプログラムに取りくんだ地域の後方支援と、まだ取りくんでいない地域(離島含む)でのペアレントプログラム開催を予定している。29年度は、与論町で実施予定。 ・奄美市では、来年度、子育て支援として担当課(子ども未来係)が取りくむ予定。市親子教室、各保育園及び児童発達支援センターで実施を予定している。 		
その他、本事業への感想・ご意見	フォローアップには、辻井先生に来ていただきたいです。		

奈良県

(1) 開催日時： 2016年12月23日(金) 13:00～16:00

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 2名
- ・認定外参加者： 15名
- ・参加者数： 17名

(3) 会場の様子



都道府県名	奈良県	報告者名	大西 和幸
連携団体名	奈良県発達障害支援センターでいあー		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	<p>～発達障害や発達の気になる子どもを持つ家族支援について～</p> <p>県内のいくつかの自治体や民間団体・大学等が、発達障害のある子どもが いる家族に向けてペアレント・トレーニング等の子育て支援を実施して います。ただ、より身近な地域で支援を受けることができる、児童発達支援 センター等の福祉施設においては、家族支援のニーズが高いにも関わら ず、実施が少なく、実施するための職員向けの専門的な研修が少ないのが 現状としてあります。発達障害だけではなく、発達の気になる子どもを持 つ家族に向けた幅広い支援方法や支援者を育成する研修が望まれていま す。</p>		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<p>児童発達支援センター等の地域機関に対して、研修等を実施し、ペアレン ト・プログラムを実施できるための体制を作りたいと考えています。また、 当発達障害支援センターはそのバックアップ機関としての動きを検討し ていきます。</p>		
その他、本事業への感想・ご意見	<p>プログラムのマニュアルや実施するときのツールなどが充実しており、地 域機関への紹介の際に活用しやすい。</p>		

愛知県田原市

(1) 開催日時

2017年1月20日(金) 9:00~12:00

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 18名
- ・認定外参加者： 0名
- ・参加者数： 18名

(3) 会場の様子



都道府県名	愛知県	報告者名	神谷順子
連携団体名	田原市こども発達相談室		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	<p>田原市健康福祉部では児童福祉法の改正もあり、平成25年度よりこども発達相談室を子育て支援課に設置し、児童や保護者からの相談、保育所・こども園及び小学校等への巡回訪問、子育て支援セミナー等の開催、教育関係機関・発達支援や療育支援等に関する機関との連携を行っています。家族支援では、ペアレントプログラムの活用、その後のフォローとして、29年度より子育てママののおしゃべりサロン等を計画しています。</p>		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<p>27年度、28年度と実施していますが、来年度以降は今回認定を受けた保育士さんが主体となり療育教室等で継続していきます。また、支援者にもペアレントプログラムの促進、理解の為に前出講座（子ども発達相談室で28年度より開催）を継続していきます。</p>		
その他、本事業への感想・ご意見	<p>田原市の保育園は現在公立が90%以上をしめています。支援体制のプラットフォームを確立するにははじめやすい街だと思います。市内全域に広めていこうと思いますので、今後ともフォローアップ研修等、ご支援ご協力いただければと思います。</p>		

岡山県

(1) 開催日時： 2017年1月21日(土) 13:30～16:30

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 7名
- ・認定外参加者： 9名
- ・参加者数： 16名

(3) 会場の様子



都道府県名	岡山県	報告者名	伊丹英徳
連携団体名	アリスの会		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	<p>県の障害福祉課では、発達障害のある人のトータルライフ支援機関ガイド（リーフレット）を作成し、配布。HPにも、発達障害のある方という、情報サイトを作成している。またサポートブック（県と政令指定都市は違うものを作成使用）を作成し、必要としている人に配布。放課後児童サービス事業所は、県南では多く立ち上がっている。</p> <p>県北の1市では「親子のいいとこプログラム」として、ペアレントプログラムを2回の講座で開催している。「子育て上手プログラム」として、ペアレントトレーニングを取り組んでいる地域が5地域ある。いずれも県障害福祉課が管轄している区域である。</p> <p>県には政令指定都市があり、県と政令指定都市の進み具合が違っていると感じる。</p> <p>上記のように子育て支援プログラムをを数年前から取り組んでいる地域もあれば、全く取り組む様子がない地域もあり、同じ県内で住んでいても、支援が同じではなく、小さい市町ほど取り組みが早いように感じる。</p> <p>ペアレントメンター活動を、積極的に地域の子育て支援や家族支援に取り入れられている地域はあるが、そうでない地域も多い。メンターが住んでいない地域もある。</p> <p>診断が年々早くなり、情緒支援学級への在籍や、支援学校に在籍する児童もどんどん増えている。子どもを対象とした福祉サービスは増えているが、療育できる場は小学校就学までで、入学後はほとんどない。保護者が相談できる機関は少なく、家族支援体制は全く足りていない。</p>		

<p>ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について</p>	<p>主催はアスペ・エルデの会であったが、呼び掛けたのが小さな会なので、この事業について、丁寧な説明ができず、参加が少なかったのか、会としても残念な結果となった。ただ、県内最も大きい医療機関の支援者や、子育て支援事業所のスタッフ、2年前に研修を受けた支援者が複数名参加し、認証を受けたので、今後の広がり期待したい。</p> <p>当県での子育て応援プログラムは、オリジナルで実施されており、回数も5回、6回、7回と、まちまちである。簡易版のようなものを実施して、効果がどのくらい望めるのか分からない。</p> <p>ペアレントメンターにも二つのプログラムを体験し、メンター派遣の際に、プログラムを体験する保護者にこえかけをする役割である。メンターの役割も県によってまちまちであるが、決められた人数の中で、ニーズに応じた派遣が、ボランティアという立場で継続して支援することが出来るのか、心配もある。</p>
<p>その他、本事業への感想・ご意見</p>	<p>主催がアスペ・エルデの会であったが、地方なので、団体についての情報を知らない支援者もあり、広く情報が行き届かなかったのが残念だった。全国足並みそろえた事業の広がりが期待されるが、その地域でどういう団体が事業について情報発信していくかで、行きわたるスピードが違うのだろうと、強く思った。</p> <p>地域ごとに活躍する支援専門家や支援機関、行政を巻き込むルートがなく、今回の場合など、事前に中央からの情報発信や専門家を巻き込んだ募集があればよかったのではと思った。当会が活動する県が、他県よりこの事業について関心が薄いのであれば、団体としてどういうことをしていけばよいのか、ご助言いただきたい気持ち。</p>

山口県

- (1) 開催日時： 2017年1月22日(日) 9:30~12:30
- (2) 参加者
 - ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 6名
 - ・認定外参加者： 23名
 - ・参加者数： 29名
- (3) 会場の様子



都道府県名	山口県	報告者名	前田 和治
連携団体名	発達障がいを考える会 ブルースター		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現状について	<ul style="list-style-type: none"> ・1年1回公開講演会開催で、啓発活動 ・会員の研修会・レクリエーション開催 ・保護者の会・兄弟の会の開催 ・1年に1回ブルースター通信発行 ・ペアレントメンターとして活動 ・母親相談会の開催 		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<p>・平成29年度の自立支援協議会において、長門市におけるペアレント・プログラムの活用について具体的に協議を開始する予定です。そして、第1回目の実施を年度内に行いたいと思います。</p> <p>・新たに支援者の養成講座を長門市と協力して計画実施していきたいと思います。</p> <p>将来的には、それぞれの保育園・幼稚園の保育士さんが普通に活用できるように広げていきたいと思います。また、小学校でも活用できるように教育委員会とも連携していく予定です。</p> <p>・将来は、子育てに悩む保護者への支援のスタンダードとして、あらゆる場面で使っていけるように長門市だけでなく山口県でも広げていけるように進めていきたいと思います。</p>		
その他、本事業への感想・ご意見	<p>・今回のような研修会が実施できたことは、本当に貴重であると思います。せっかくいただいたチャンスを生かして実行していかなければならない責任を感じます。本来ならば、もっと早く実行へ移すべきでしたが実行力のなさを反省しております。しかし、来年度からは長門市と連携して実施していくつもりです。</p> <p>・ペアレント・プログラムの良さは、とにかく活用しなければ意味がないと思っておりますので実施に向けて進めていくつもりです。</p> <p>・ペアレント・プログラムは、子育てのスタンダードなものとして広がることを望んでいます。そして、そのことにより子供たちが自分らしい成長ができ、また保護者は子育てにもっと前向きになれて自信を持って子供たちと向き合えるようになることを期待しています。</p>		

青森県

(1) 開催日時： 2017年2月9日(木) 9:30～12:30

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 7名
- ・認定外参加者： 41名
- ・参加者数： 48名

(3) 会場の様子



都道府県名	青森県	報告者名	安田小響
連携団体名	<ul style="list-style-type: none"> ・青森県発達障害者支援センター「ステップ」 ・弘前大学子どもこころの発達研究センター 		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	<p>他県に比べて資源の少ない県ですが、県内でも中心部と地方の間で支援者の数や支援体制の充実に対する差が非常に大きいと感じています。</p>		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計・展望について	<p>平成29年度は連携団体の予算にて、ペアプロ認定資格を得ている支援者によるペアプロ周知を目的とした支援者対象の研修会を開催した後、弘前市と五所川原市にて研修型ペアプロを実施する予定です。同時に自治体に働きかけ、該当市では平成30年度に市の予算にて運営できることを目標としています。</p> <p>平成30年度は、ペアプロ実施に意欲のある別地域にて研修会と研修型ペアプロを実施し、ペアプロを実施する地域を広げていくよう計画しています。</p>		
その他、本事業への感想・ご意見	<p>本県では、徐々にペアプロという名前が支援者に知られるようになってきている段階で、さらに普及活動が必要だと感じています。支援者同士・支援者と保護者・保護者同士が繋がっていき、地域で子どもを支えるという体制を確立させる上でもペアプロはとても有効だと感じているので、他地域でどのように体制作りがされているのか、新情報を頂ければ嬉しいです。</p> <p>資格制度や教材が整ってきていることによって、これまでペアプロを勉強ただけで終わってしまっていた支援者の方にも実施してもらいやすくなると思っています。今後もよろしくお願いいたします。</p>		

石川県小松市

(1) 開催日時： 2017年2月11日(土) 13:00~16:00

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 10名
- ・認定外参加者： 10名
- ・参加者数： 20名

(3) 会場の様子



都道府県名	石川県小松市	報告者名	境 幸子
連携団体名	小松市発達支援センターえぶりい		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	<p>平成27年7月に、発達支援センターの拠点をこれまでの教育研究センターから、母子保健の窓口であるすこやかセンターに移したことにより、健診からのつなぎやフォロー体制がスムーズとなり、早期相談の増加につながっています。</p> <p>基本的な相談支援の流れとしては、健診→個別相談→園訪問等による行動観察→保護者への報告→各種支援となっており、各種支援の中には、個別療育等の児童に対する支援とあわせ、保護者へのペアレント・プログラムがセンターの子育て支援の一つの軸となってきています。</p> <p>また、様々な支援機関が関わるケースについては、定期的に支援会議を開催するなど、チームでの家族支援を心がけています。</p>		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度より継続して年1回開催してきたペアレント・プログラム講座を、平成29年度は年2回開催とします。 ・園からの依頼を受け、園内で保護者向けにペアレント・プログラムを実施し、その場に保育士も同席してもらうことで、支援者の人材育成にもつなげます。 		
その他、本事業への感想・ご意見			

愛知県大府市

(1) 開催日時： 2017年2月16日(木) 17:45～20:45

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 33名
- ・認定外参加者： 16名
- ・参加者数： 49名

(3) 会場の様子



都道府県名	愛知県大府市	報告者名	浜田恵
報告者所属	浜松医科大学子どもこころの発達研究センター		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	<p>大府市の子育て支援担当部署では、平成20年度より、浜松医科大学子どもこころの発達研究センターの事業に協力する形で、ペアレント・トレーニングを開始し、その後、ペアレント・プログラムの開発を受けて、市の保育士の研修の一環として、プログラムを行っています。市内の公立保育園・児童センター・児童老人福祉センターに勤務する保育士が研修として参加し、また、指導保育士や子育て支援センター所長、浜松医科大学子どもこころの発達研究センターの臨床心理士らが助言者として関わることによって、保育士の保護者支援を向上させることを主な目的としています。</p> <p>また、子育て支援事業「JOYJOY」において、子育てを難しいと感じている保護者や特性のある子どもを対象として、保育士・保健師・臨床心理士による子どもと保護者への支援が行われています。</p>		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<p>来年度も、今年度と同様、保育士（園長補佐・主任保育士）の研修として、一般向けの募集による第1クールと、子育て支援事業「JOYJOY」に参加している保護者から参加を募る第2クールのペアレント・プログラムが実施される予定です。</p>		
その他、本事業への感想・ご意見			

熊本県八代市

(1) 開催日時： 2017年3月10日(金) 13:30～16:30

(2) 参加者

- ・ペアレント・プログラム実施資格認定者： 14名
- ・認定外参加者： 8名
- ・参加者数： 22名

(3) 会場の様子



都道府県名	熊本県	報告者名	西坂 亮子
連携団体名	熊本県南部発達障がい者支援センターわるつ		
貴地域における子育て支援・家族支援体制の現況について	<p>すでに発達障がい児・者支援施策の中で、ペアレント・プログラムやペアレント・トレーニングのように、連続講座の形態で保護者向けの講座を企画・実施（予算化）している地域もあれば、「就学前は保健センターがフォローするでしょう」「障がい児支援であれば、福祉課でしょう」というように、家族支援の位置づけも曖昧なまま宙に浮いてしまっているような地域もあり、家族支援の体制としては地域格差が大きくなっているように感じている。</p> <p>園や事業所単位で、保護者支援として勉強会や講座を実施しているところは多いが、単発開催（毎回、テーマが変わる）や茶話形式での質疑応答などが主になっているところが多いように感じる。</p>		
ペアレント・プログラムを活用した家族支援に対する今後の計画・展望について	<p>当センターの役割としては、地域の支援者養成の目的が主となるが、地域からの依頼による講師派遣の形での実施を予定している。</p> <p>また、地域資源の少ない地域や支援体制の中で保護者支援の明確な位置づけがされていない地域においては、当センターが主催の形で、家族支援の効果、有用性などについても、行政へ働きかける手段の一つとして、活用していきたいと考えている。</p>		

<p>その他、本事業への感想・ご意見</p>	<p>日程や予算の都合もあり、研修を受ける場合、1～2名が研修を受け、その内容を所内で共有するという形がほとんどであるが、今回のように講師の先生方が地域まで来て研修をして頂けることで、職員が同時に同じ研修を受けることができ、実施に向けてより具体的に計画が進められているように感じている。</p> <p>また、地域の行政職、支援者の方と一緒に研修を受けることができたため、今後の支援体制や家族支援の実施について、依頼する側、依頼される側ではなく、互いに計画から実施までの役割分担や内容調整等の話ができており、機関間の連携体制の整備にもつながっているように感じている。</p>
------------------------	--

2-2 ペアレント・プログラム実施資格認定

<実施計画>

- (1) 時期： 2016年9月～2017年2月（ワークショップ実施と同時）
- (2) 対象者： 既にペアレント・プログラム参加型研修（全6回）を受講し、本事業におけるワークショップに参加した支援者（保育士、保健師、福祉事業所職員等）（合計200名程度）
- (3) 内容： ペアレント・プログラム実施資格認定の発行および認定者数・地域掲載のウェブサイト掲載
- (4) 費用： 発行費用として1人につき3,000円を徴収する。

<活動実績>

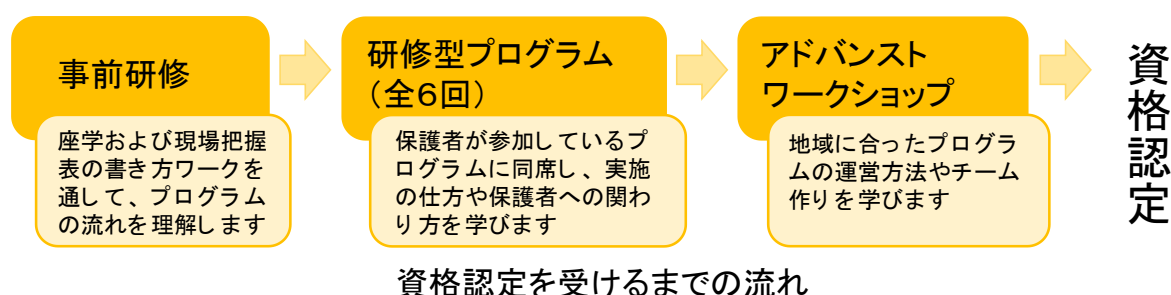
- (1) 時期： 2016年9月～2017年3月（ワークショップ実施と同時）
- (2) 対象者： 既にペアレント・プログラム参加型研修（全6回）を受講し、本事業におけるワークショップに参加した支援者（保育士、保健師、福祉事業所職員等）（合計305名）
- (3) 内容： ペアレント・プログラム実施資格認定証の発行および地域別実施資格認定者数をペアレント・プログラム専用HPへ掲載（今後、随時更新予定）
- (4) 費用： 発行費用として1人につき3,000円を徴収した。

2-3 ペアレント・プログラム実施資格認定の仕組み

(1) 導入の目的

本事業は、ペアレント・プログラム実施のための資格認定制を導入することを目的とした3年間（予定）の事業である。平成28年度日本財団の助成を受けて実施し、平成29年度も引き続き日本財団助成事業としての継続実施されることが決定した。

この「資格」は、今後、県および市区町村が家族支援の公的な枠組みの中でペアレント・プログラムを導入していくにあたり、地域でペアレント・プログラムが実施可能な支援者の質を確かなものにするためのものである。また、本事業を通じて、各地域の子育て支援の現状や課題などを、施設や職種を超えて共有する機会とし、自治体の中で継続的な保護者支援を行う足がかりとなることも目的としている。



(2) 資格の有効期限および更新について

今回認定する資格は5年間の有効期限を設けている。これは、ペアレント・プログラムそのものが、マニュアルに沿った全6回を基本としつつ、各地域の実情に合わせて柔軟に改変していくことを推奨していることに基づくものである。つまり、今後もマニュアルの改変が見込まれるため、5年をめやすに実施内容のアップデートをはかることを目的としているためである。今後の更新に関しては、今回と同様のワークショップの実施を予定しているが、実施形態や内容は変更する可能性がある。

3. 事業成果物

3-1 アドバンストワークショップの活動写真（各地域2~3枚）

連携協力団体へ、ワークショップ開催中の活動写真撮影の依頼をしてきたが、ご協力の得られた地域と、撮影の失念等によりご協力をいただけなかった地域が存在した。そのため、以下、弊会へ提出された会場の記録の中から、2-1(7)の地域別活動報告の際に、1部ずつ選択して会場の様子として添付した。

3-2 ワークショップ実施に関する報告書 A4版 30ページ（本書）

本事業の計画、実施状況、アドバンストワークショップ終了後に連携協力団体に対して行ったアンケート内容、今後の課題と計画についてまとめた。

（連携協力団体及び全国の発達障害者支援センター等、関係機関へ送付）

3-3 ペアレント・プログラム資格認証

全国地域別ペアレント・プログラム実施資格認定者数は、以下の通りである。

・北海道(8名)	・埼玉県(3名)	・岐阜県(2名)	・鳥取県(0名)	・長崎県(7名)
・青森県(7名)	・千葉県(27名)	・静岡県(31名)	・岡山県(7名)	・熊本県(13名)
・岩手県(1名)	・東京都(1名)	・愛知県(76名)	・広島県(0名)	・大分県(15名)
・宮城県(10名)	・神奈川県(0名)	・三重県(1名)	・山口県(6名)	・宮崎県(0名)
・秋田県(0名)	・新潟県(0名)	・滋賀県(0名)	・徳島県(0名)	・鹿児島県(39名)
・山形県(9名)	・富山県(0名)	・京都府(1名)	・香川県(0名)	・沖縄県(0名)
・福島県(0名)	・石川県(10名)	・大阪府(2名)	・愛媛県(0名)	
・茨城県(0名)	・福井県(10名)	・兵庫県(1名)	・高知県(0名)	
・栃木県(0名)	・山梨県(0名)	・奈良県(2名)	・福岡県(0名)	
・群馬県(0名)	・長野県(0名)	・和歌山県(16名)	・佐賀県(0名)	

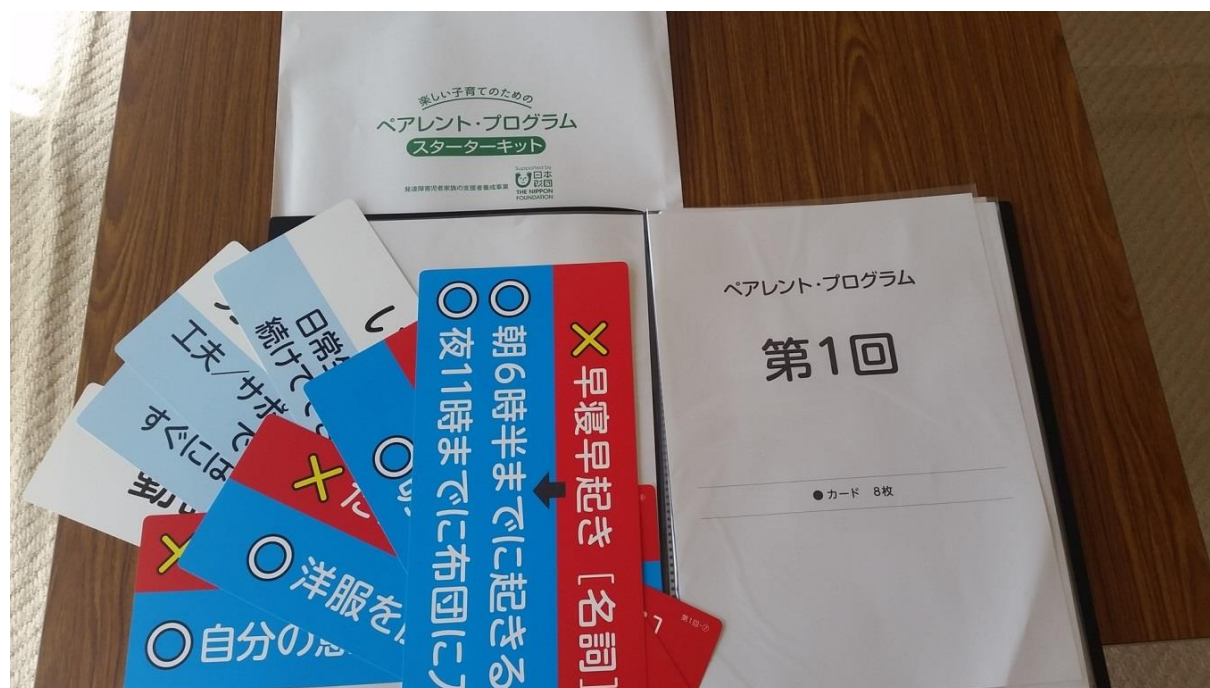
(全国計 305名)

4. ペアレント・プログラム実施時に用いる掲示素材・配布資料

プログラム実施時に活用できる提示素材として、「ペアレント・プログラムスターターキット」(300部)を作成した(以下、写真添付)。このキットは、アドバンスワークショップ内で参加者へご紹介し、送料のみ申請者負担により、キット本体は無料配布する形で、ペアレント・プログラム実施者への配布を開始している。

認定者全てに配布するのではなく、実際に地域でプログラムを実施することが決定、又は実施予定が決定した認定者からキット送付の申込を受け付けており、本助成金で作成のキットの有効活用に配慮しながら、子育て支援の現場において活用が始まっている。

[ペアレント・プログラムスターターキット]



4. 全体の成果 及び 今後の課題・取り組みについて

発達障害やその特性のある子どもの家族への支援体制は十分ではなく、国は家族支援の重要性を強調し、当会が開発したペアレント・プログラム（以下、ペアプロ）の普及に期待を寄せている。弊会は 2016 年度より貴財団の助成の下で支援者資格認定も開始し、既に全国で約 300 人以上の支援者が実施資格認定証を取得した。それ以外にも、これまで弊会は厚生労働省障害者総合福祉推進事業等を通して、認定資格申請が可能となる研修型ペアプロを実施してきており、その受講者は数多く存在する。

しかし、資格認定者へのサポートと各地域の実施体制構築には未だ課題として残っている。今後、研修型ペアレント・プログラムを積極的に実施しながら、引き続き支援者の資格認定と自治体との連携提案、ワークショップ、支援者へのスーパービジョンを実施していく予定である。行政職員の参加を積極的に促し自治体の中で継続的な保護者支援を行うことによって、未来を担う子ども達の健全育成を図っていきたい。